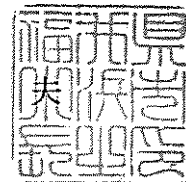


浜道第 195 号
平成19年 5月 7日

国土交通省道路局長 様

小浜市長 村上 利



中期的な計画の作成にあたってのご意見の提出について (回答)

貴職におかれましては、小浜市の道路事業につきまして、格別のご指導とご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

平成19年4月2日付で依頼のありました、「中期的な計画の作成にあたっての意見の提出」につきまして、別紙のとおり提出させていただきますので、よろしく願いいたします。

道路整備 中期計画作成についての意見

地方の道路は、住民の生活や経済活動などを支える最も基礎的な社会基盤であり、災害や危機管理の面からも極めて重要な施設である。都市と地方の格差を是正し、均衡ある発展を図るためにも、道路整備は必要不可欠な社会資本であり、なかでも高速交通網・広域的な交通網の整備は急務である。

1. 小浜市の道路の現状

若狭地方を縦断する幹線道路は国道27号のみであり、その中心に位置する小浜市は、県庁所在地である福井方面、京阪神方面等への移動には相当の時間を要し、緊急時の対応や産業・経済・文化活動への影響が大である。

国道27号については、行楽シーズンの交通量の増加等に加え、阪神大震災以来九州、中国地方からの大型車輛の通行が大幅に増加していることなどで渋滞が頻繁に生じている。狭小な歩道、段差、歩道未設置区間等があり歩行者が大変危険な状況である。また老朽化した橋梁（湯岡橋）がある。万一27号が交通不能となると若狭地方に与える影響ははかりしれないものがある。

国道162号は、南丹市、おおい町・小浜市・若狭町を結ぶ道路で山間地においては急峻で幅員も狭く、崩落事故（相生地係）も発生している。市街地部では歩道も狭く歩行者にとって大変危険な状況である、また老朽化した橋梁（大手橋・西津橋）がある。

県道・市道については、幅員も狭く大型車の通行不可能な箇所もあり、歩道の未設置区間も多い。また計画線のみで整備されていない区間もある。

2. 高速道路・広域交通網の整備促進

高速・広域道路整備は関西・中京・北陸圏とのネットワークを形成し、若狭地方の産業振興、文化交流を図り、都市と地方の格差を解消し、日本海国土軸の一翼を担い、近畿圏の経済発展にも貢献する。

また、災害時や、有事の際の交通確保、名神高速道路の代替ルート、交流人口の増加による地域の活性化、国道27号の渋滞解消・安全確保、企業誘致、安全・安心な新鮮農林水産物の輸送時間短縮、利便性を良くし優秀な人材の確保、老朽化した橋梁の架替・改修により住民生活の安全性の向上、など地域の振興、活性化に高速・広域道路網整備は最も重要な施策である。

- ・舞鶴若狭自動車道整備 国道27号整備（歩道整備、湯岡橋改修等）
小浜インター線、国道162号（矢代～田烏間、大手・西津橋架替、深谷相生間バイパス等）、国道303号追分トンネル整備、など。

（老朽橋、湯岡橋、大手橋、西津橋、）

3. 主要幹線道路の整備促進

地域住民の生活、経済活動、地域間の交流、などのまちづくりに道路整備は是非とも必要であり、防災面からも大変重要である。

- ・県道羽賀東小浜停車場線（高塚）、県道岡田深谷線、県道久坂中ノ畑小浜線、
県道小浜朽木高島線、小浜縦貫線、山手小松原線整備など。

4. 生活道路の整備

市道等は地域住民の生活道路であり、安全・安心なみちづくりが求められている。（生活に密着しているため、修繕・改修の要望が多い）。

5. その他

小浜市は、神社仏閣が多く、神仏混合の聖地として、世界遺産暫定リスト登載を目指しており、機能面だけでなく景観にも配慮したみちづくりが必要と考えている。

それぞれの地域のまちづくりにあったみちづくりを行なうことにより、無駄を省き、コスト縮減を図る必要がある。

修繕や交通安全施設設置など、維持管理費の増大により、財政負担が多大となっている、国からの支援が必要である。